

県内の景気動向

概況（2024 年 3 月）

景気は、緩やかに拡大している（7 カ月連続）

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は、消費マインドは底堅く継続しており、回復の動きが強まっていること、建設関連は資材価格が高止まりしているものの、民間工事の動きが活発化しており、回復の動きが強まっていること、観光関連は、前年同月に実施された全国旅行支援の反動は多少あるものの、国内外の旅行需要は引き続き高く、緩やかに拡大していること、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

先行きは、底堅い消費マインドと観光需要にけん引され、緩やかな拡大基調が継続するとみられる。

消費関連

百貨店売上高は、9 カ月連続で前年を上回った。人気の高い物産催事の開催や、自社ブランドである高級フルーツ店の新規オープンなどが集客や売上増加に寄与した。スーパー売上高は、既存店・全店ベースともに 22 カ月連続で前年を上回った。値上げによる単価上昇に加え、県民や観光客など来店客数の増加がみられ全品目で前年を上回った。新車販売台数は、一部自動車メーカーによる生産・出荷停止の影響が継続したことなどにより 4 カ月連続で前年を下回った。家電大型専門店販売額（速報値）は、8 カ月連続で前年を上回った。

先行きは、新車をはじめとする耐久消費財の先行きに懸念があるものの、消費マインドは底堅い推移が見込まれ、回復の動きが強まるとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、国、県は増加したが、市町村、独立行政法人等・その他は減少したことから、2 カ月連続で前年を下回った。建築着工床面積（2 月）は、居住用、非居住用ともに減少したことから 2 カ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数（2 月）は、給与、分譲は増加したが、持家、貸家は減少したことから 2 カ月連続で前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに増加したことから、3 カ月ぶりに前年を上回った。建設資材関連では、セメントは 3 カ月ぶりに前年を下回り、生コンは 2 カ月ぶりに前年を下回った。鋼材売上高は出荷量が減少したことなどから前年を下回り、木材売上高は、出荷量が増加したことなどから前年を上回った。

先行きは、資材価格が高止まりしているものの、民間工事の動きが活発化していることなどから回復の動きが強まるとみられる。

観光関連

入域観光客数は、28 カ月連続で前年を上回った。国内客は 2 カ月ぶりに減少し、外国客は 18 カ月連続で増加した。県内主要ホテルは、稼働率は 3 カ月連続で前年を上回り、売上高、宿泊収入は 3 カ月ぶりに前年を下回った。主要観光施設入場者数は 25 カ月連続で前年を下回った。ゴルフ場は、入場者数は 3 カ月連続で減少し、売上高は 7 カ月ぶりに前年を下回った。前年同月の全国旅行支援の反動があるものの、外国客の増加もあり好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲が高いなか那覇空港発着の航空便の拡充があり、外国客の増加が見込まれること、ゴールデンウィークの旅行需要や夏の旅行シーズン到来で国内客の増加も予想されることから、緩やかに拡大するとみられる。

雇用関連

新規求人数は、前年同月比 3.9%減と 3 カ月連続で前年を下回った。産業別では、製造業、生活関連サービス業・娯楽業、宿泊・飲食サービス業などで減少した。有効求人倍率（季調値）は 1.16 倍で、前月と同水準となった。完全失業率（季調値）は 3.3%と、前月から 0.5 ポイント上昇した。

その他

消費者物価指数は、前年同月比 3.5%の上昇となり、31 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 3.5%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 3.1%の上昇となった。

倒産件数は 4 件で前年同月から 2 件減少した。負債総額は 1 億 1,300 万円で、前年同月比 22.1%減となった。

りゅうぎん調査（2024 年 3 月）

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2024.1－2024.3)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	5.2	8.2
(2) スーパー(既存店)(金額)	6.3	6.4
(3) スーパー(全店)(金額)	7.2	7.1
(4) 新車販売(台数)	▲ 26.8	▲ 25.7
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	P 11.9	P 6.8
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	▲ 11.1	10.4
(2) 建築着工床面積(m ²)	(2月) ▲ 24.6	(12-2月) ▲ 12.1
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(2月) ▲ 2.6	(12-2月) ▲ 2.7
(4) 建設受注額(金額)	P 206.9	P 31.2
(5) セメント(トン数)	▲ 8.7	▲ 2.2
(6) 生コン(m ³)	▲ 12.0	▲ 4.1
(7) 鋼材(金額)	P ▲ 0.4	P 15.7
(8) 木材(金額)	3.2	9.2
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	10.3	15.7
うち外国客数(人数)	155.6	181.6
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P 0.3	(前年同期差) P 1.5
	(実数) P 62.9	(実数) P 58.5
(3) "売上高(金額)	P ▲ 0.8	P 6.7
(4) 観光施設入場者数(人数)	P 12.8	20.0
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 3.4	▲ 2.6
(6) "売上高(金額)	▲ 1.3	3.4
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	▲ 3.9	▲ 2.7
(2) 有効求人倍率(季調値)	1.16	1.15
(3) 消費者物価指数(総合)	3.5	3.7
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) ▲ 2	(前年同期差) 3
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(2月) 1.3	(12-2月) ▲ 1.0

(注 1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注 2) 2022 年 4 月より家電卸売販売額から家電大型専門店販売額へと更改した。

(注 3) ゴルフ場は、2021 年 4 月より調査先を 8 ゴルフ場から 6 ゴルフ場とした。

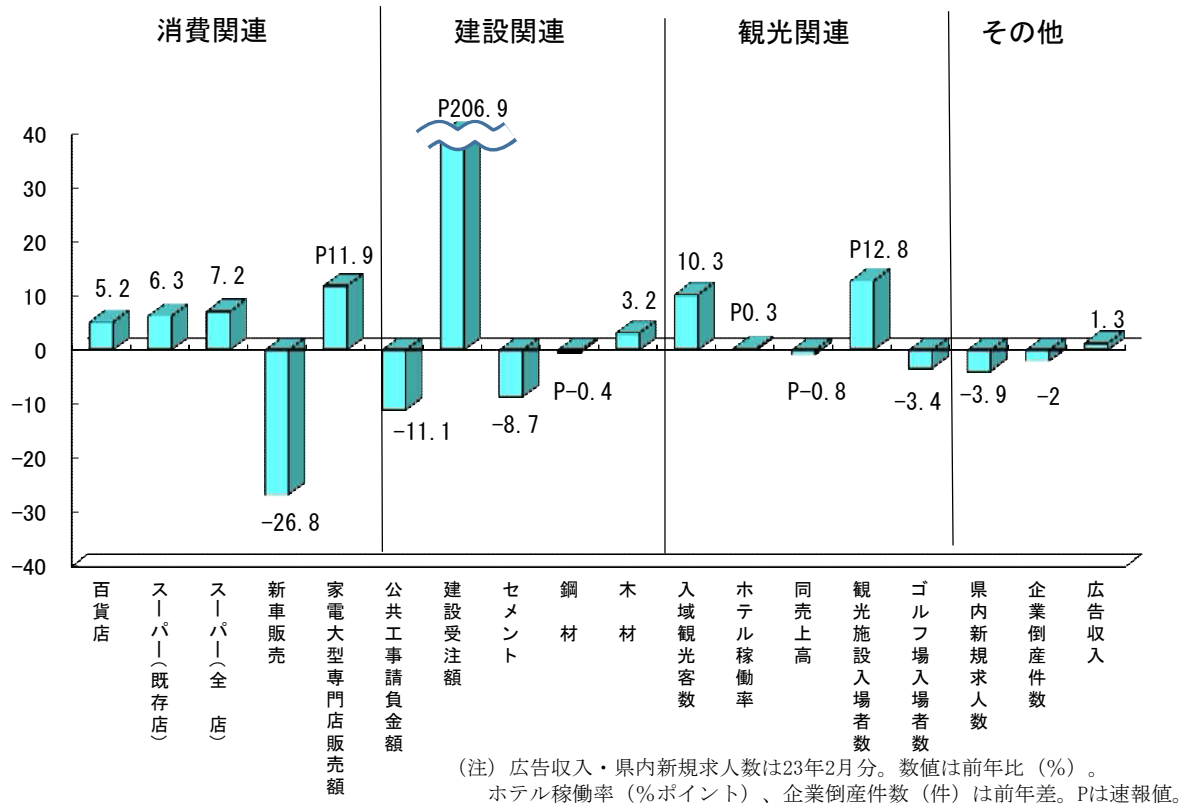
(注 4) 主要ホテルは、2021 年 11 月より調査先を 28 ホテルから 27 ホテルとした。

(注 5) 2016 年 7 月より企業倒産件数の前年同期差は、3 カ月の累計件数の差とする。

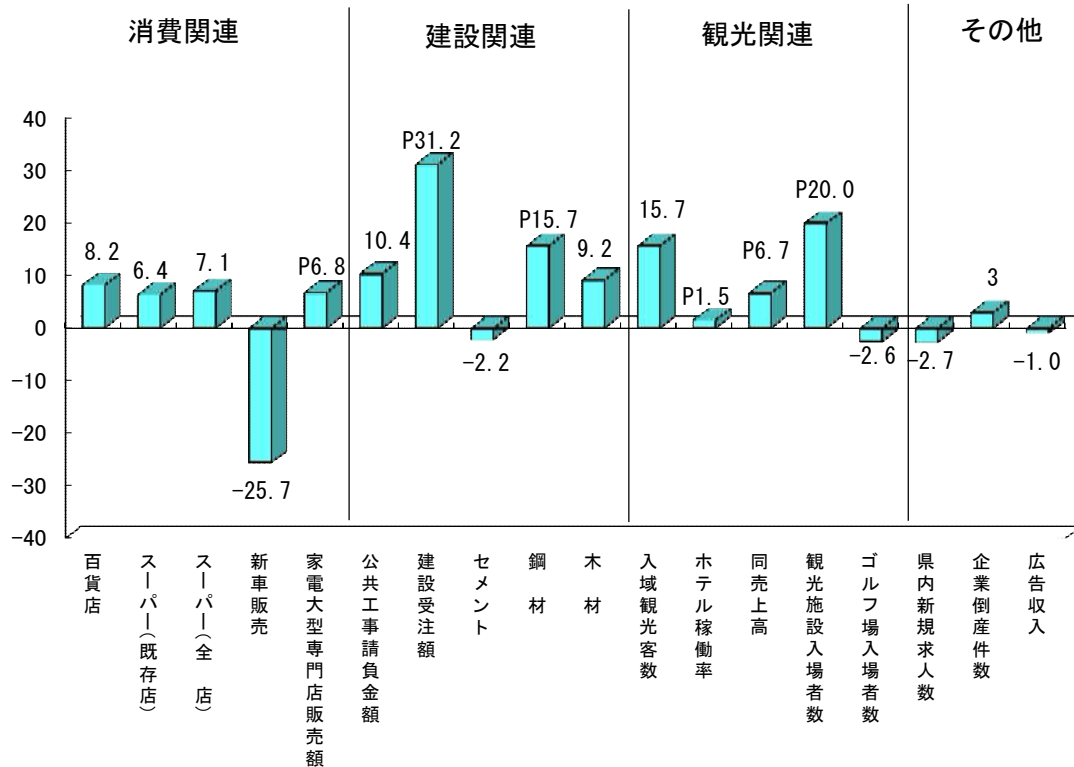
(注 6) 建設受注額は、2022 年 12 月より調査先 17 先のうち、一部更改を行った。

(注 7) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2024年3月)

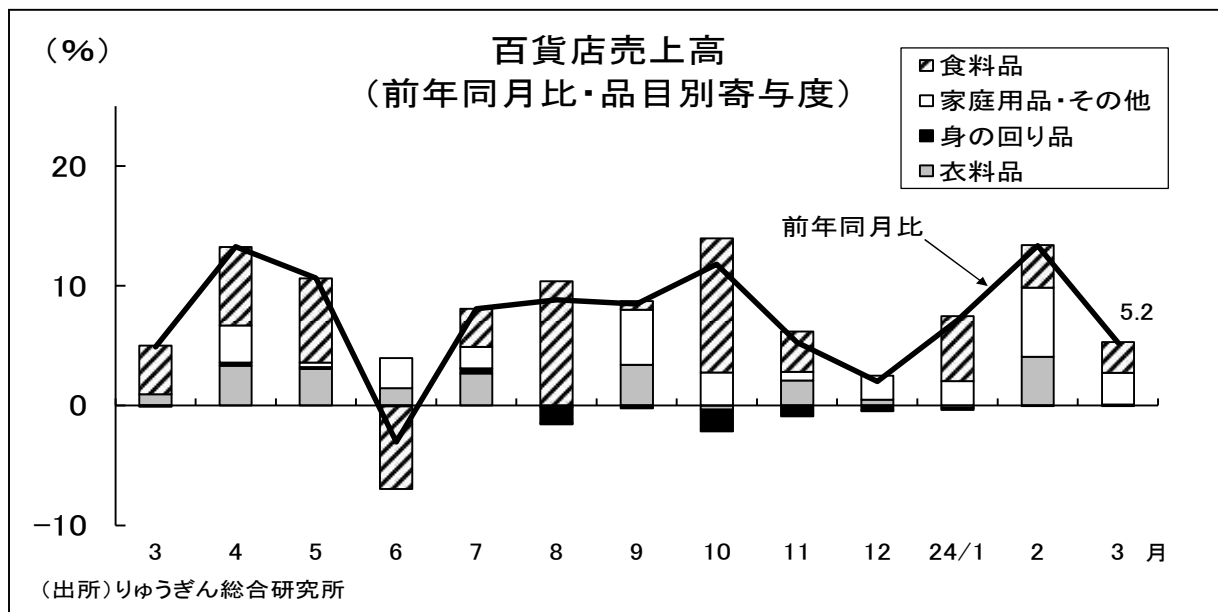


項目別グラフ(3カ月、2024年1月～2024年3月)



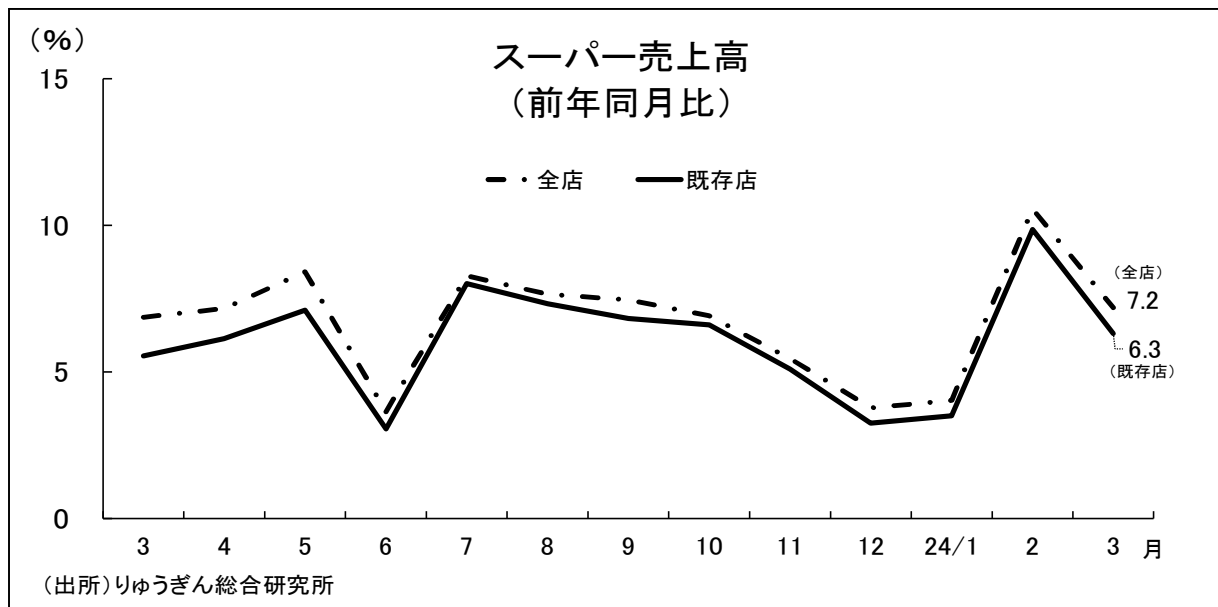
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：9カ月連続で増加



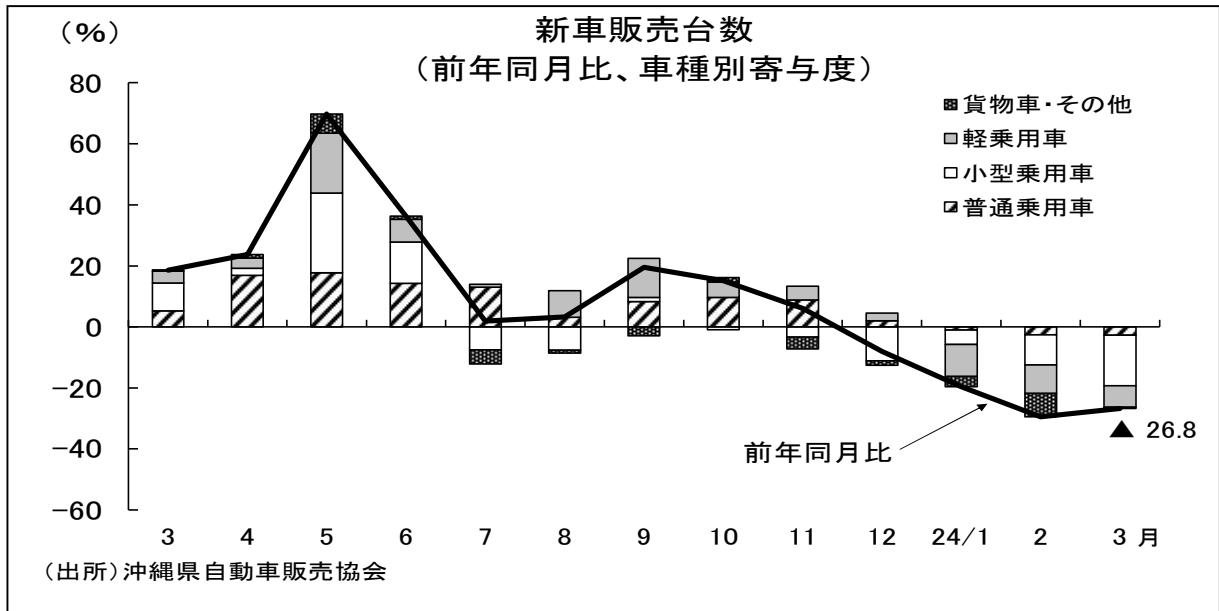
- 百貨店売上高は、前年同月比 5.2%増と 9 カ月連続で前年を上回った。
- 人気の高い物産催事や、自社ブランドである高級フルーツ店の新規オープンなどもあり食料品を中心に好調に推移した。また、新生活準備や返礼ギフト需要、外国客の増加に伴う免税売上の増加なども売上増加に寄与した。
- 品目別にみると、食料品が同 6.5%増、家庭用品・その他が同 9.9%増、身の回り品が同 1.6%増、衣料品が同 0.1%減となった。

(2) スーパー売上高：全店ベースは 22 カ月連続で増加



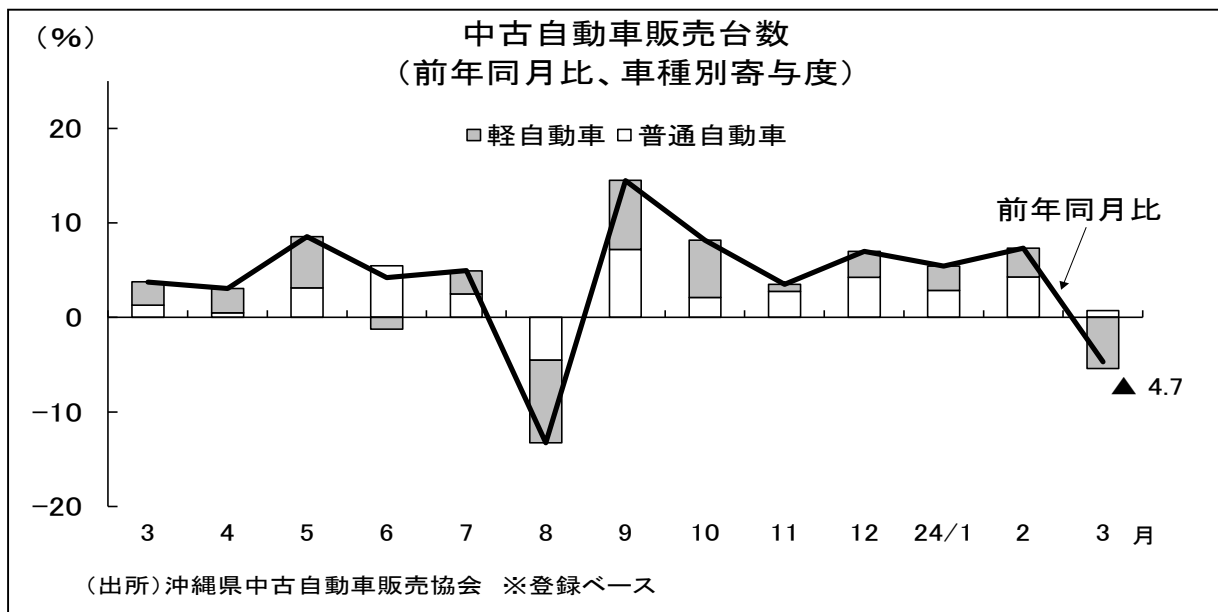
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 6.3%増と 22 カ月連続で前年を上回った。
- 値上げによる単価上昇に加えて、県民や観光客など来店客数の増加がみられ、全品目で前年を上回った。
- 品目別にみると、食料品は雛祭りやホワイトデーなどのイベント需要、観光客による県産土産品の需要が高く同 5.5%増、衣料品は同 4.5%増、住居関連は同 13.2%増となった。
- 全店ベースでは同 7.2%増と 22 カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：4カ月連続で減少



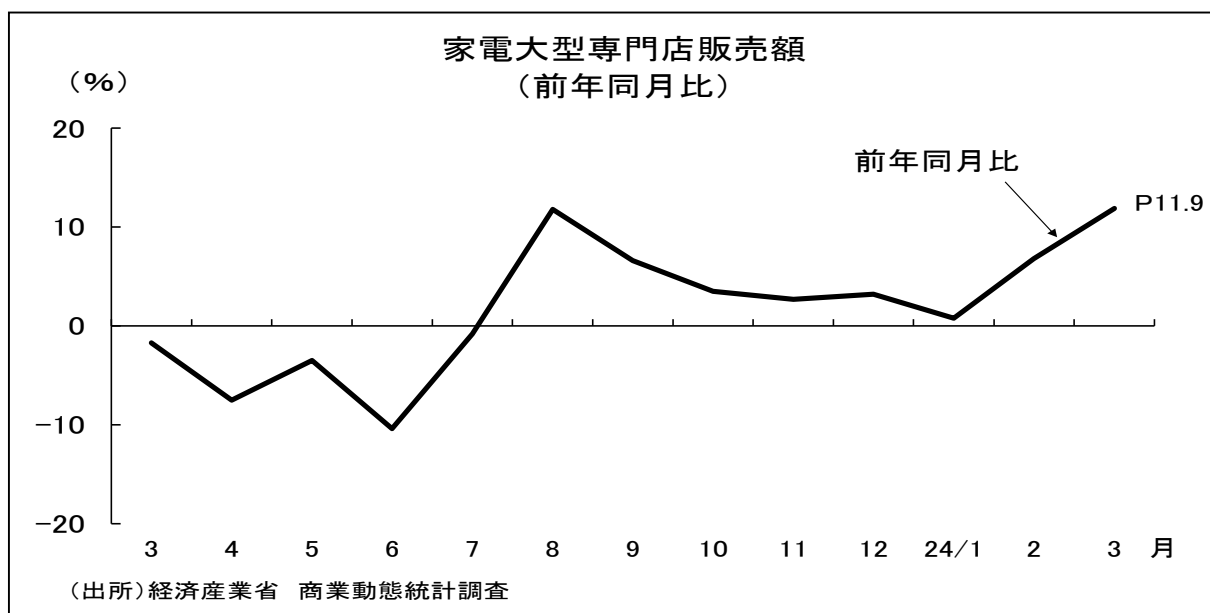
- ・ 新車販売台数は3,789台で前年同月比26.8%減と4カ月連続で前年を下回った。
- ・ 一部自動車メーカーによる生産・出荷停止の影響が継続していることや、観光需要の高まりによりレンタカー登録台数の増加がみられた前年同月の反動などにより減少した。
- ・ 普通自動車(登録車)は1,969台(前年同月比34.8%減)で、うち普通乗用車は878台(同13.8%減)、小型乗用車は861台(同49.9%減)であった。軽自動車(届出車)は1,820台(同15.5%減)で、うち軽乗用車は1,393台(同20.6%減)であった。

(4) 中古自動車販売台数(登録ベース)：7カ月ぶりに減少



- ・ 中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は、2万5,922台で前年同月比4.7%減と7カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 内訳では、普通自動車が1万417台(前年同月比1.9%増)、軽自動車が1万5,505台(同8.7%減)となった。

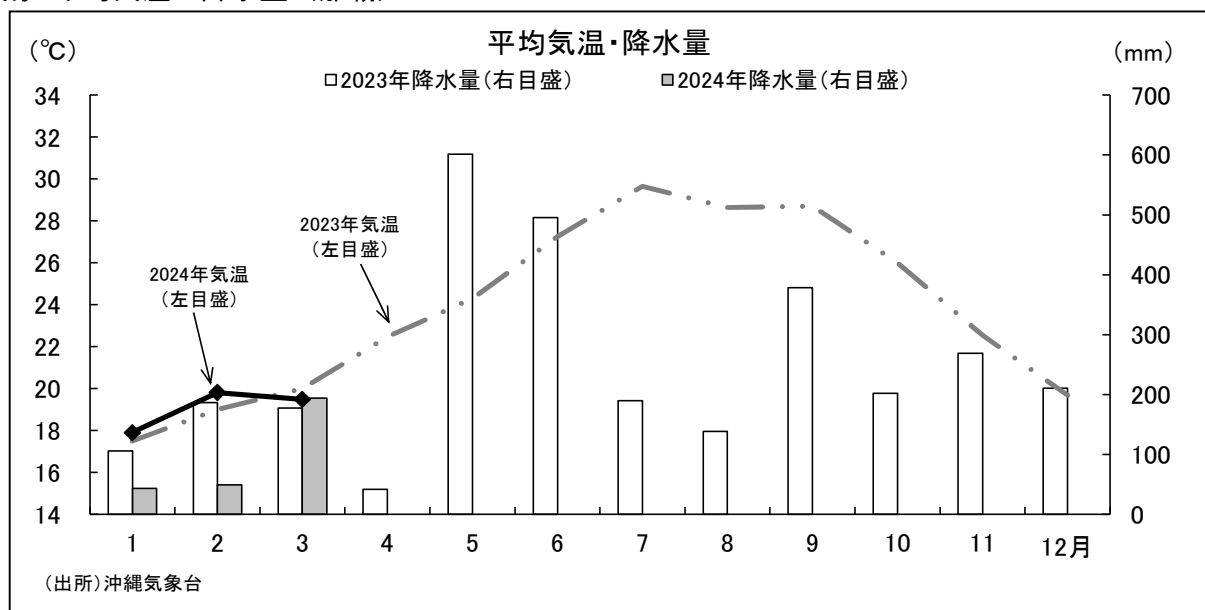
(5) 家電大型専門店販売額：8カ月連続で増加



- ・ 家電大型専門店販売額（速報値）は、前年同月比 11.9%増と 8 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 巣ごもり需要の反動が継続しているものの、新生活準備に伴う家電需要の高まりがみられたことや、値上げによる単価上昇などにより前年を上回った。

(参考)

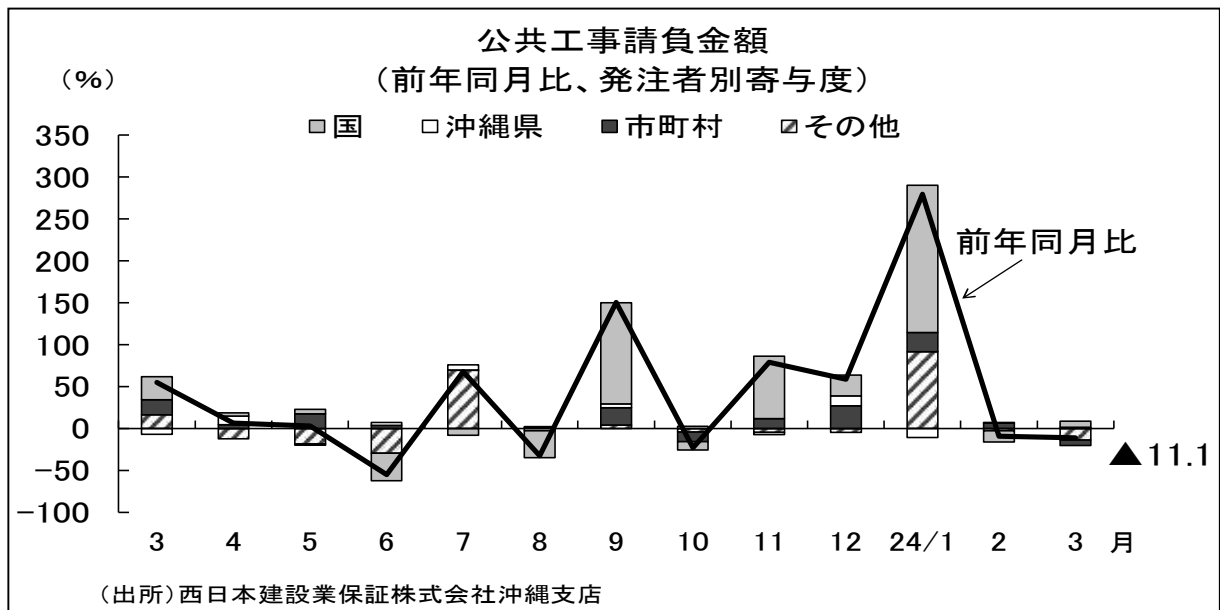
◇ 気象:平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は 19.5℃で前年同月（20.0℃）より低く、降水量は 194.0mmで前年同月（81.5mm）より多かった。
- ・ 高気圧に覆われ、晴れた日が多かったが、月の上旬と下旬は大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気のほか、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった所もあった。
- ・ 平均気温、日照時間は平年並み、降水量は平年より多かった。

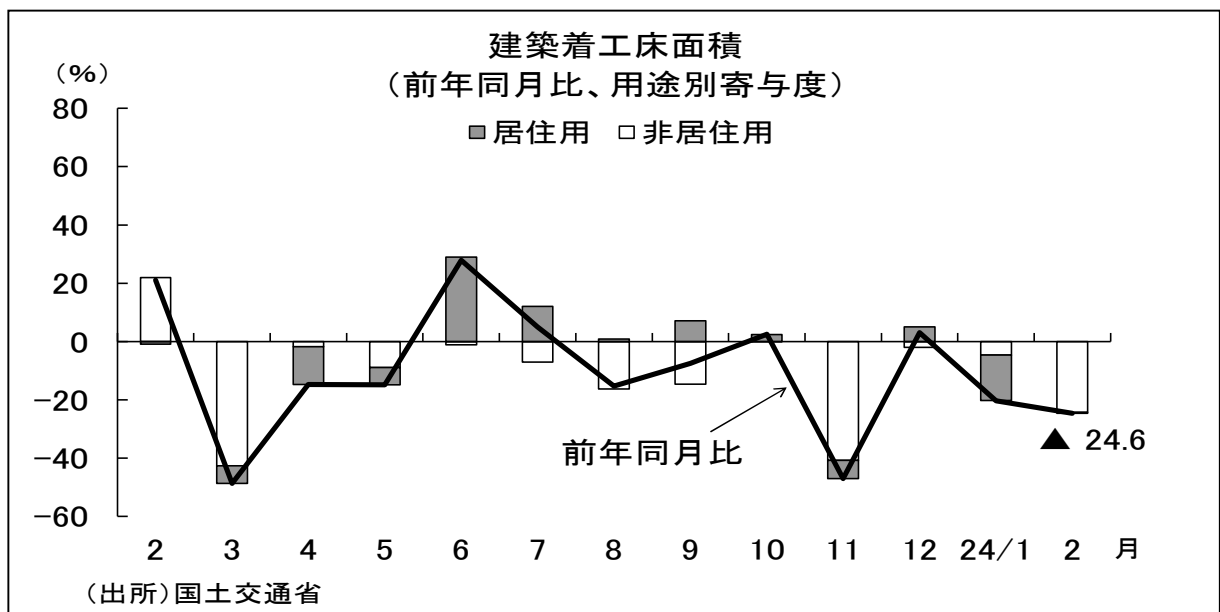
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：2カ月連続で減少



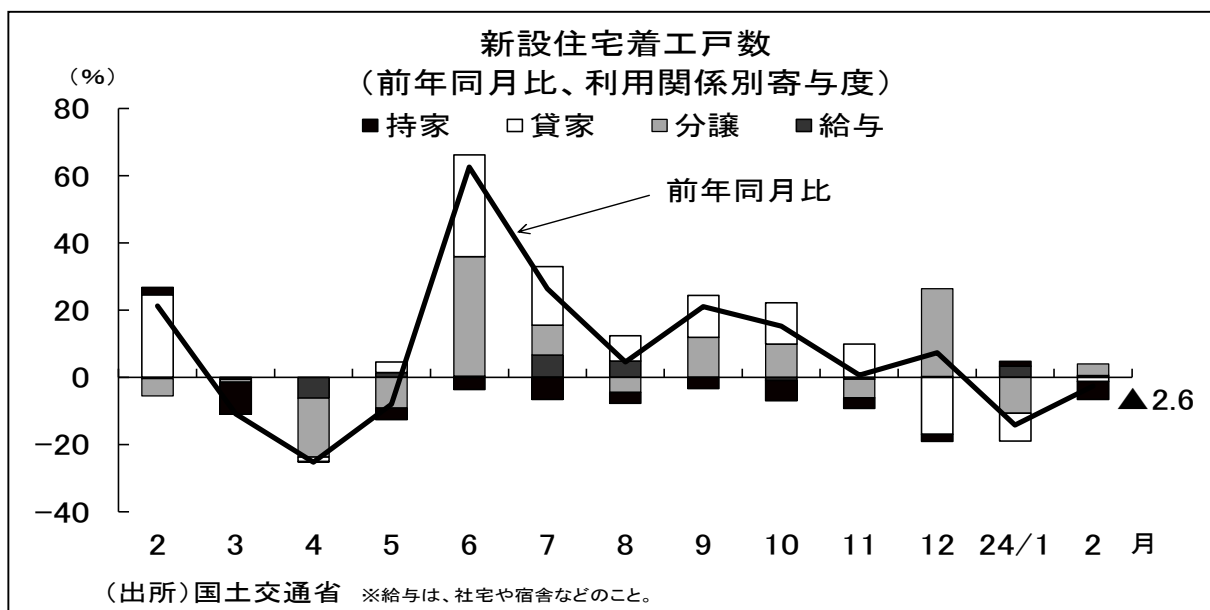
- 公共工事請負金額は、754 億 5,932 万円で、国、県は増加したが、市町村、独立行政法人等・その他は減少したことから、前年同月比 11.1%減となり、2カ月連続で前年を下回った。
- 発注者別では、国は同 13.9%増、県は同 15.8%増と増加し、市町村は同 33.1%減、独立行政法人等・その他は同 75.6%減と減少した。

(2) 建築着工床面積：2カ月連続で減少



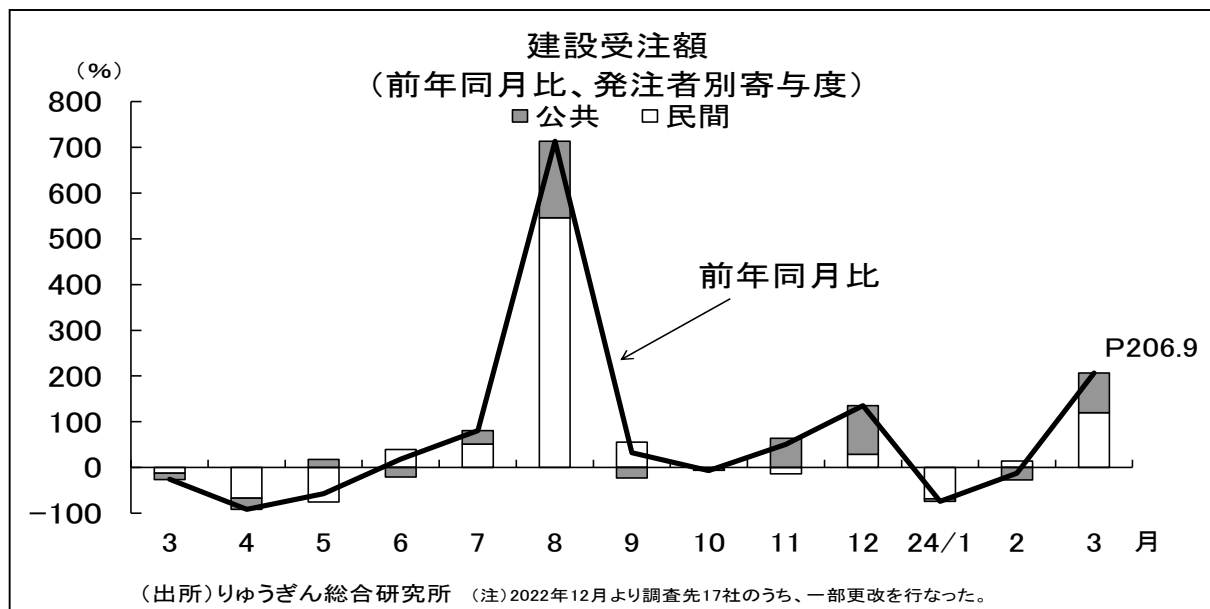
- 建築着工床面積（2月）は7万 4,999 m²となり、居住用、非居住用ともに減少したことから、前年同月比 24.6%減と2カ月連続で前年を下回った。用途別では、居住用は同 0.6%減となり、非居住用は同 53.7%減となった。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では、居住専用は減少し、居住産業併用は増加した。非居住用では、製造業用などが増加し、公務用や飲食店・宿泊業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：2カ月連続で減少



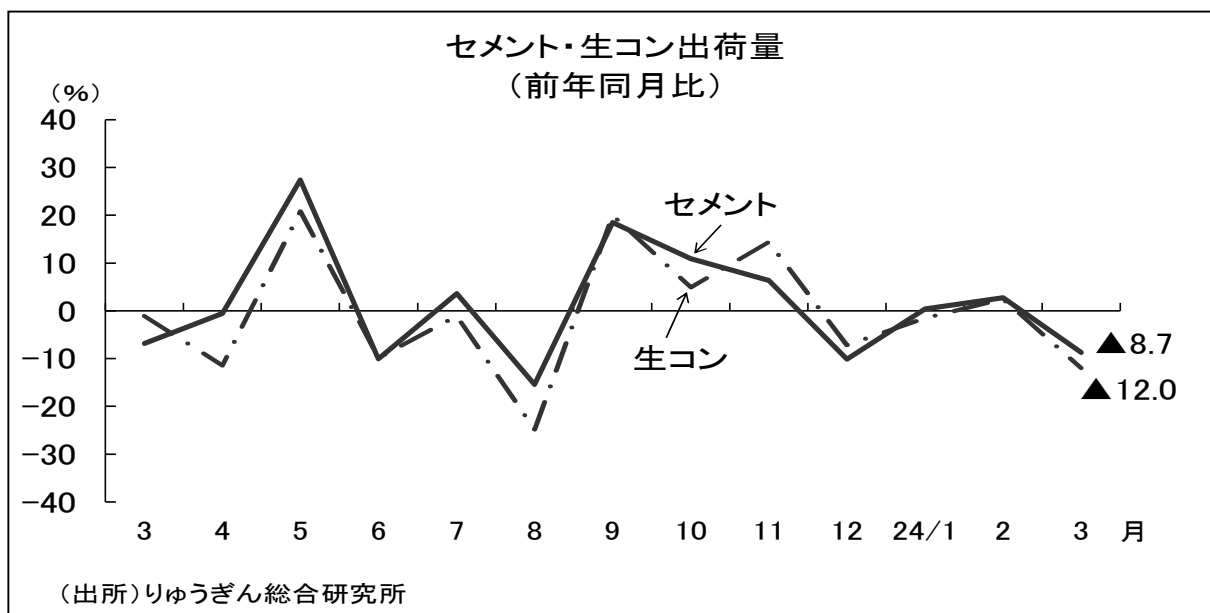
- ・ 新設住宅着工戸数（2月）は640戸となり、給与、分譲は増加したが、持家、貸家は減少したことから前年同月比2.6%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 利用関係別では、給与（4戸）が前年同月比全増、分譲（177戸）が同14.2%増と増加し、持家（197戸）が同15.1%減、貸家（262戸）が同3.0%減と減少した。

(4) 建設受注額：3カ月ぶりに増加



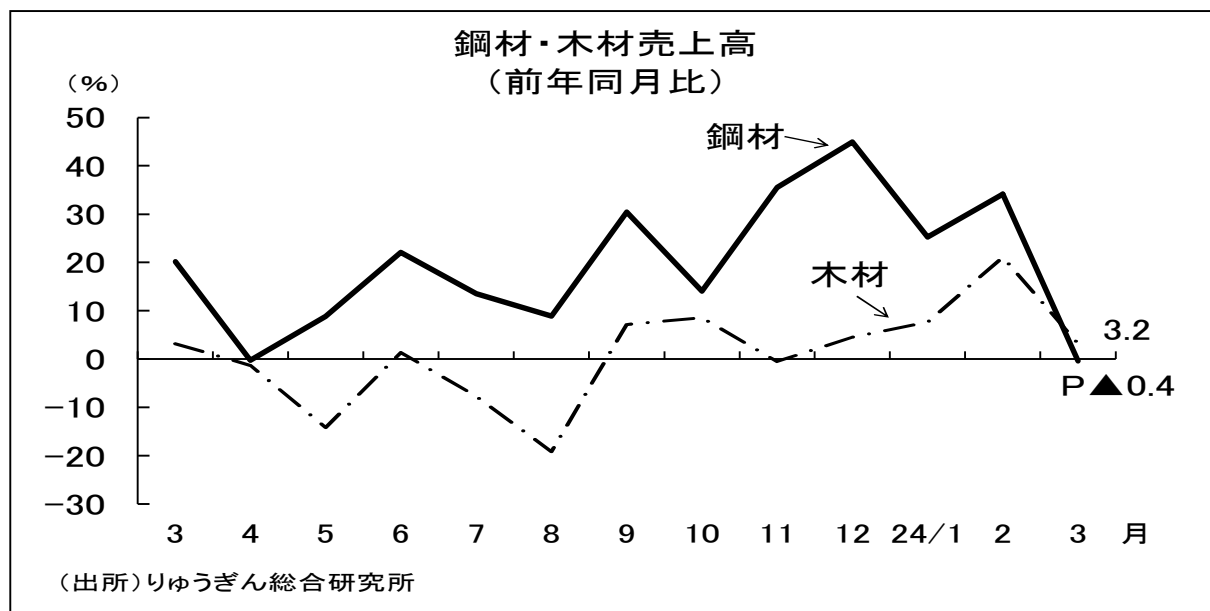
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社、速報値）は、公共工事、民間工事ともに増加したことから、前年同月比206.9%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事は同238.6%増と3カ月ぶりに増加し、民間工事は同188.8%増と2カ月連続で増加した。

(5) セメント・生コン：セメントは3カ月ぶりに減少、生コンは2カ月ぶりに減少



- ・ セメント出荷量は6万1,572トンとなり、前年同月比8.7%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は9万8,366 m³で同12.0%減となり、2カ月ぶりに前年を下回った。生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、防衛省向けなどが増加し、公共施設向けや学校関連向けなどが減少した。民間工事では、店舗向けなどが増加し、医療関連向けや個人住宅向けなどが減少した。

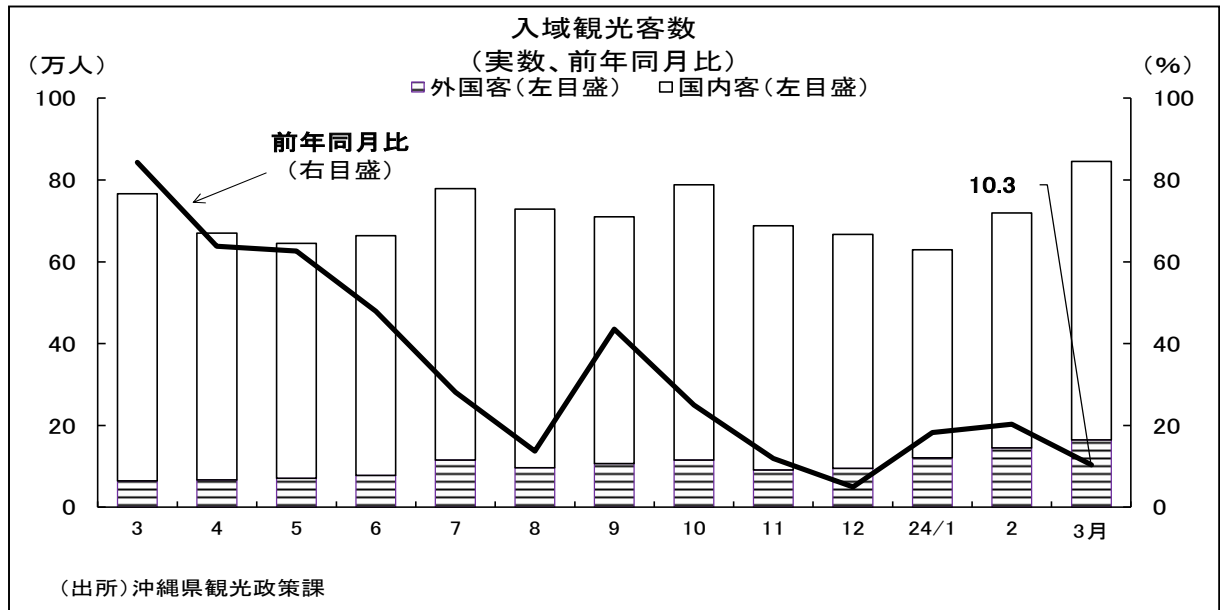
(6) 鋼材・木材：鋼材は11カ月ぶりに減少、木材は4カ月連続で増加



- ・ 鋼材売上高（速報値）は、出荷量が減少したことなどから前年同月比0.4%減と11カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 木材売上高は、出荷量が増加したことなどから同3.2%増と4カ月連続で前年を上回った。

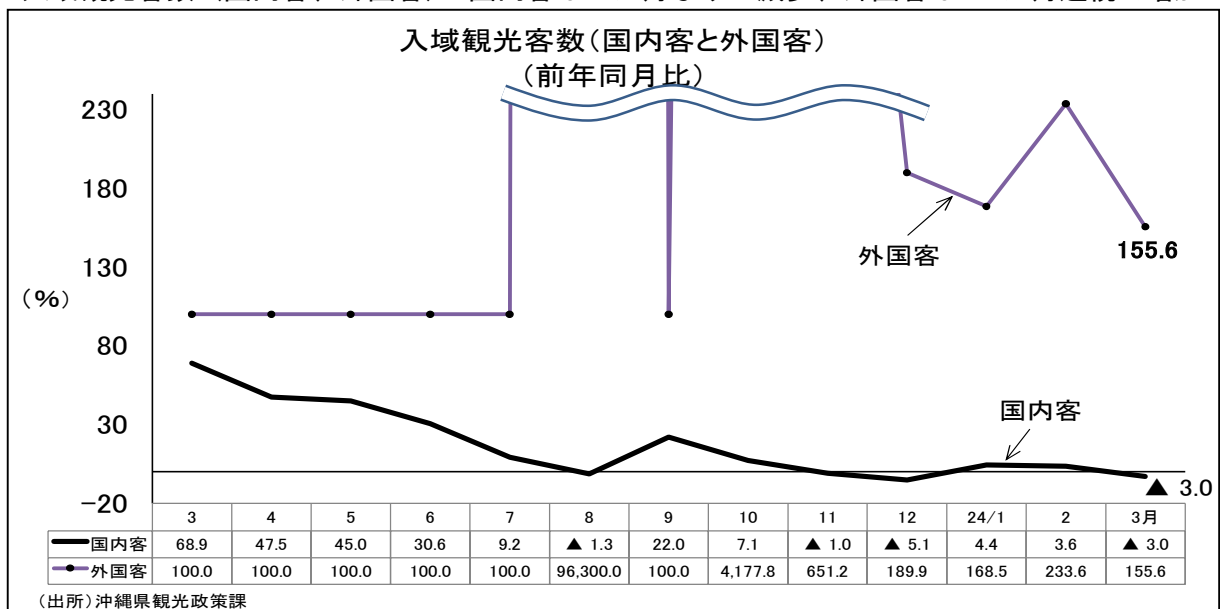
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：28 カ月連続で増加



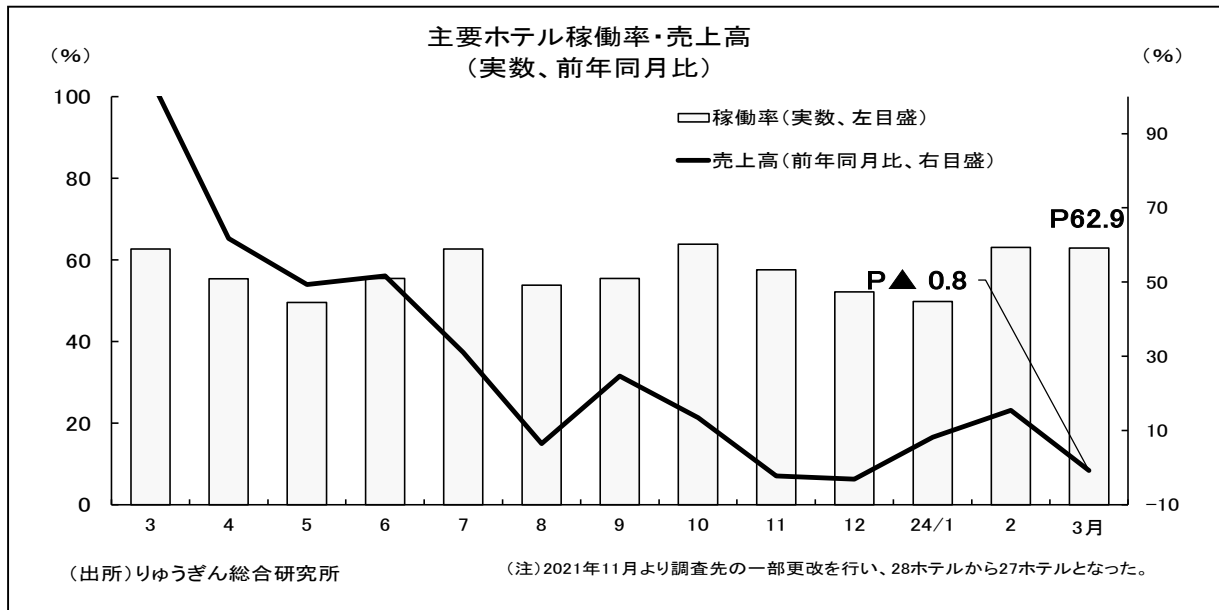
- ・ 入域観光客数は、84 万 5,100 人（前年同月比 10.3%増）となり、28 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 路線別では、空路は 77 万 4,800 人（同 3.2%増）となり 28 カ月連続で前年を上回った。海路は 7 万 300 人（同 359.5%増）となり 19 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 春休み期間もあり旅行需要が高く、前年同月を上回った。

(2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は3 カ月ぶりに減少、外国客は 18 カ月連続で増加



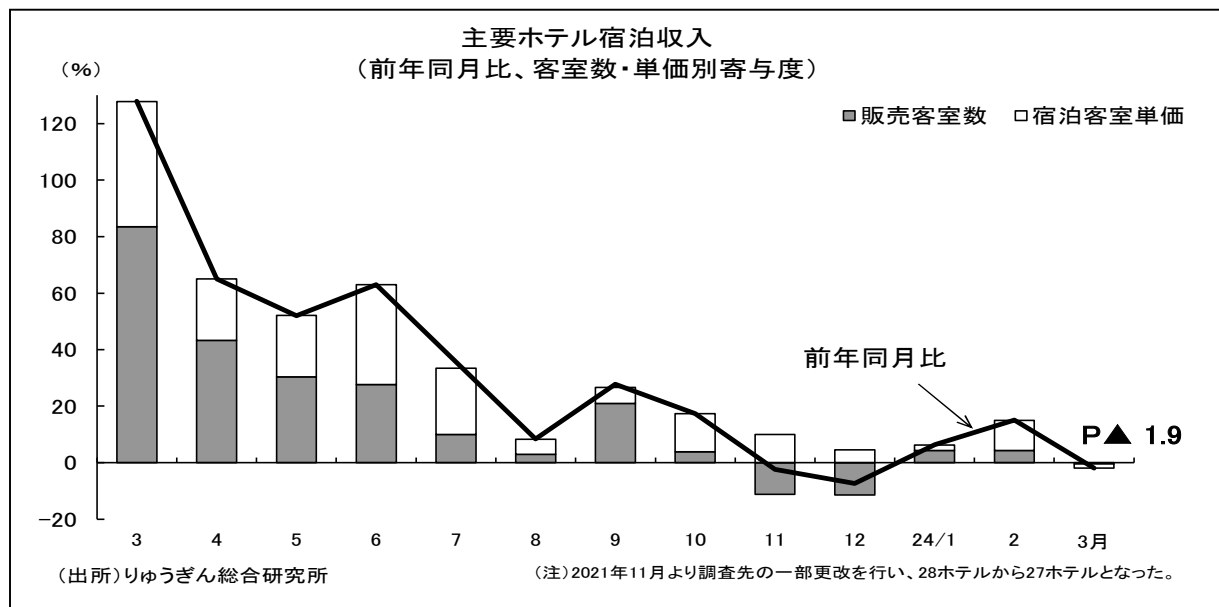
- ・ 国内客は、68 万 1,000 人（前年同月比 3.0%減）となり、3 カ月ぶりに前年を下回った。外国客は 16 万 4,100 人（同 155.6%増）となり、18 カ月連続で増加した。
- ・ 前年同月に実施された全国旅行支援の反動により国内客は前年比では減少したものの、外国客の旅行需要は引き続き高かった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は3カ月連続で上昇、売上高は2カ月ぶりに減少



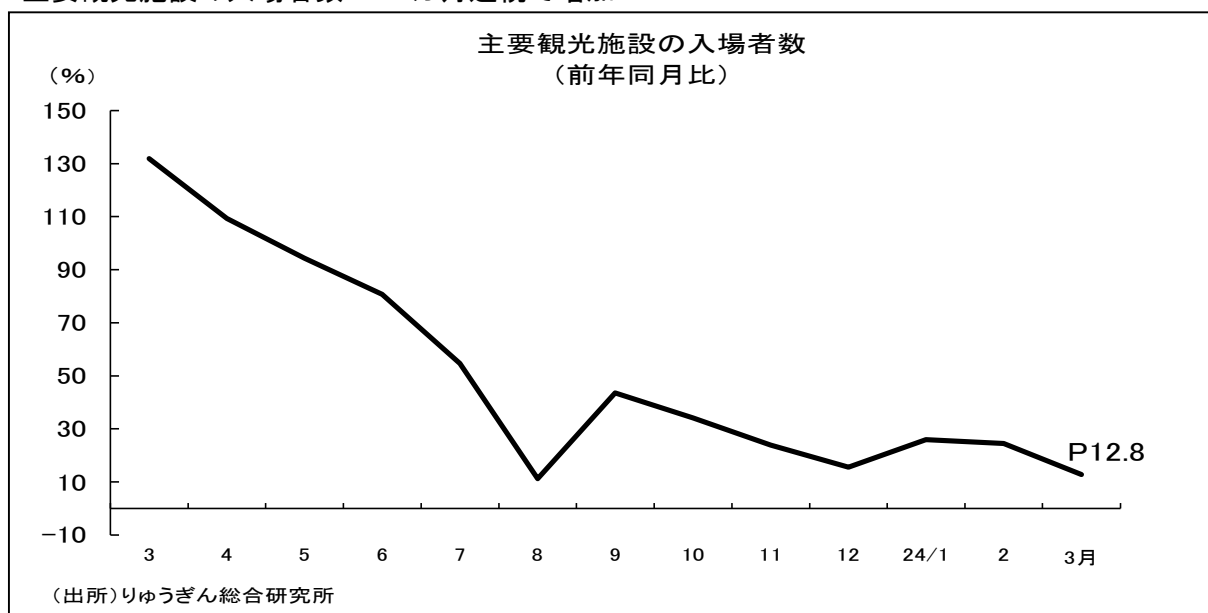
- ・ 主要ホテル（速報値）は、客室稼働率は62.9%と前年同月差0.3%ポイント上昇し3カ月連続で前年を上回り、売上高は前年同月比0.8%減となり、2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 那覇市内ホテルの客室稼働率は69.7%と同6.9%ポイント上昇し、3カ月連続で前年を上回り、売上高は同10.1%増と4カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテル（速報値）の客室稼働率は60.4%と同2.2%ポイント低下、売上高は同2.8%減となり、稼働率、売上高ともに3カ月ぶりに前年を下回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：3カ月ぶりに減少



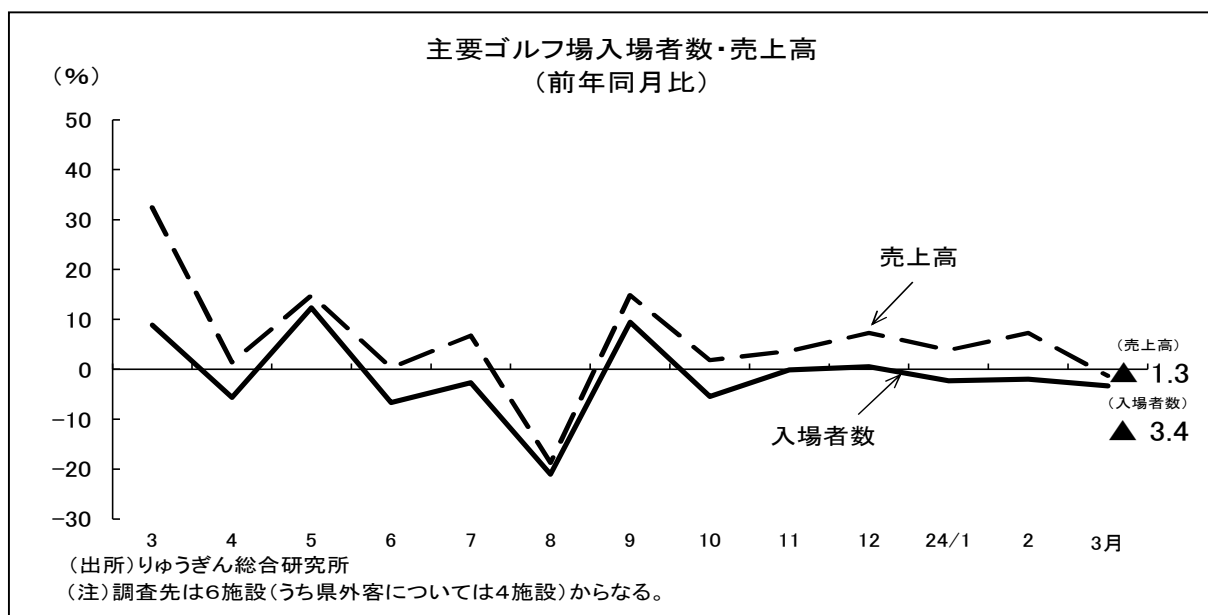
- ・ 主要ホテル（速報値）の売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）が減少、宿泊客室単価（価格要因）は低下し、前年同月比1.9%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、販売客室数が増加、宿泊客室単価は低下し同8.7%増となり、3カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテル（速報値）は販売客室数が減少、宿泊単価は低下し、同13.7%減と、3カ月ぶりに前年を下回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：25 カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数（速報値）は、前年同月比 12.8%増と 25 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 一般個人客や団体客が順調に推移したほか、外国客の利用も増加した。

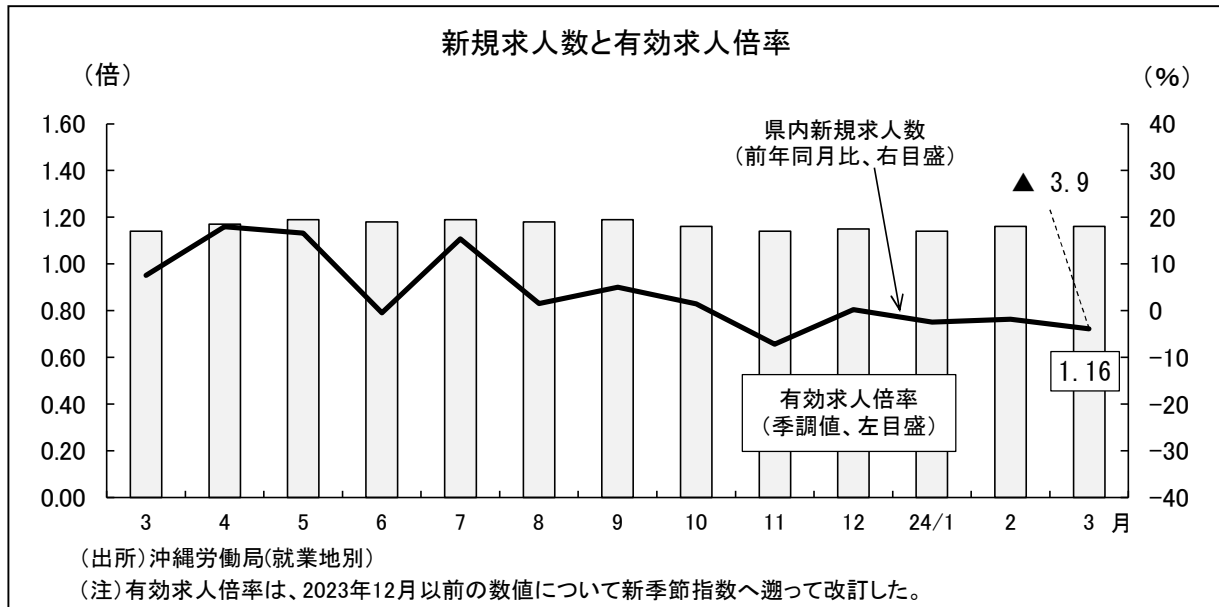
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数 3 カ月連続で減少、売上高 7 カ月ぶりに減少



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 3.4%減と 3 カ月連続で前年を下回った。県内客は 4 カ月連続で前年を下回り、県外客は 4 カ月連続で前年を上回った。売上高は同 1.3%減と 7 カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 天候不良の日があったほか、インバウンド客の予約が減少傾向にあった。

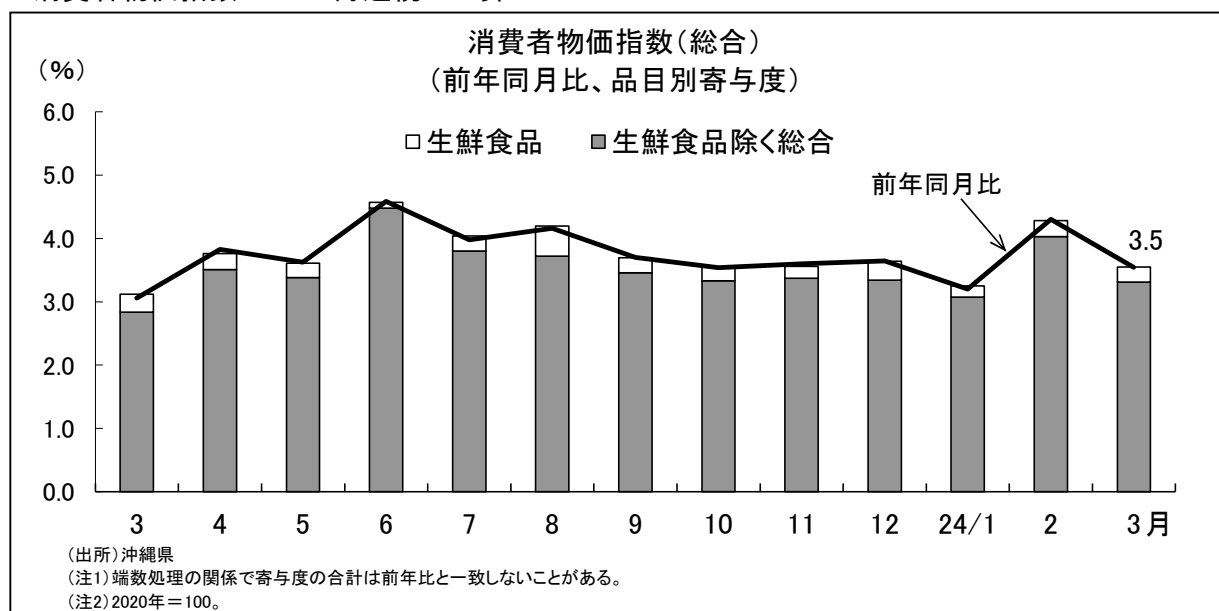
4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は同水準



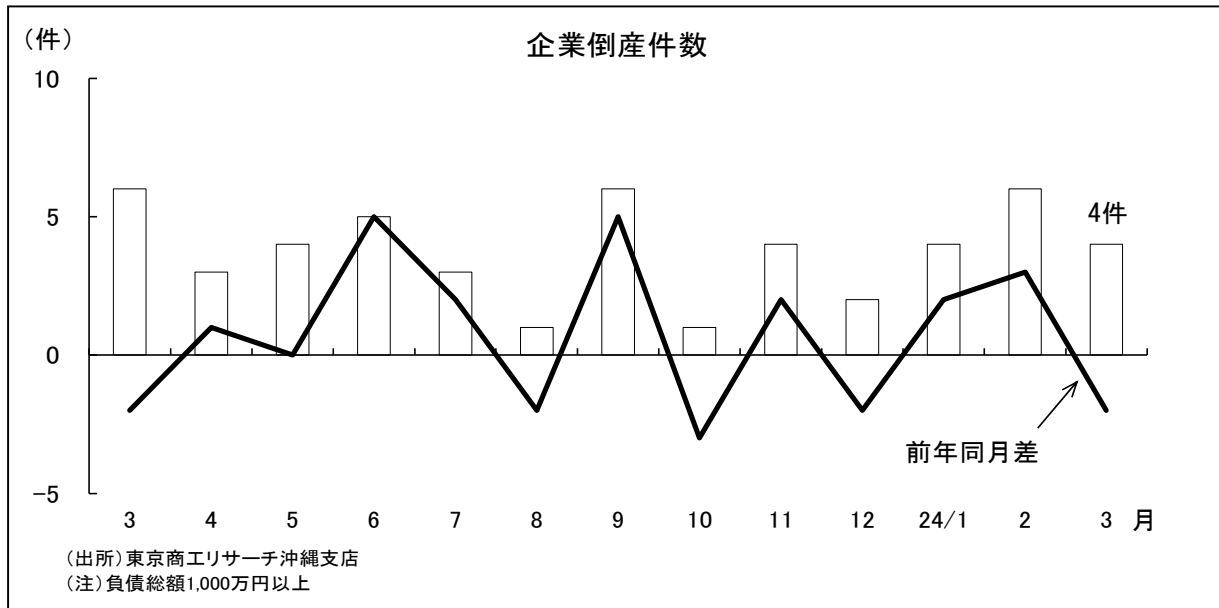
- 新規求人数は、前年同月比 3.9%減と3カ月連続で前年を下回った。産業別では、製造業、生活関連サービス業・娯楽業、宿泊・飲食サービス業などで減少した。有効求人倍率（季調値）は1.16倍で、前月と同水準となった。
- 労働力人口は、78万6,000人で同0.6%増となり、就業者数は、75万7,000人で同1.1%増となった。完全失業者数は2万9,000人で同9.4%減となり、完全失業率（季調値）は3.3%と、前月から0.5ポイント上昇した。

(2) 消費者物価指数：31カ月連続で上昇



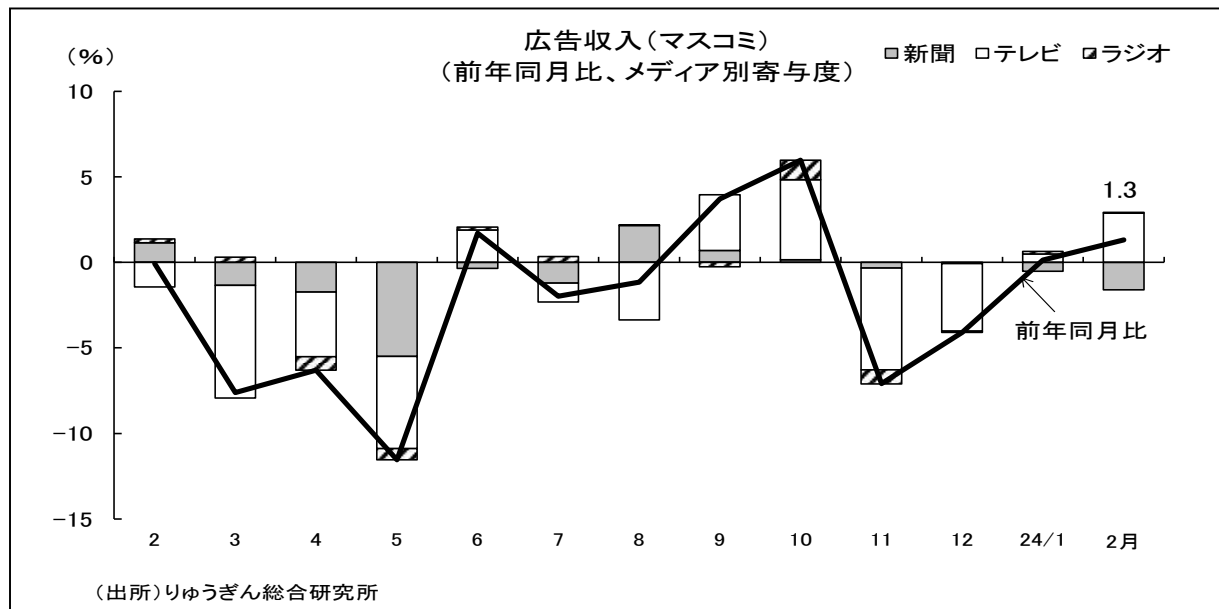
- 消費者物価指数は、前年同月比 3.5%の上昇となり、31カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同3.5%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同3.1%の上昇となった。
- 費目別の動きをみると、被服及び履物や教育娯楽などで上昇し、家具・家事用品などで下落した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに減少



- ・ 倒産件数は、4件で前年同月から2件減少した。業種別では、建設業2件、小売業1件、サービス業他1件となった。
- ・ 負債総額は1億1,300万円で、前年同月比22.1%減となった。

(4) 広告収入 (マスコミ)：2カ月連続で増加



- ・ 広告収入 (マスコミ：2月) は、前年同月比1.3%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 前年同月はマイナポイント等官公庁関連の広告等が多くその剥落はあったものの、全体では好調に推移した。

沖縄県内の主要金融経済指標

沖縄県内の主要金融経済指標(その1)

	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全 店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台 数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
暦年	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2021	▲ 7.9	▲ 1.7	▲ 0.2	21.2	▲ 11.0	1.7	344,381	11.8	1,571	1.0
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2023	8.4	5.5	6.1	▲ 0.8	19.2	3.6	425,816	25.1	-	-
2023 2	16.7	3.4	3.9	▲ 5.0	45.9	2.4	59,359	141.8	99	21.0
3	4.9	5.5	6.5	▲ 1.7	18.6	3.7	84,927	54.9	80	▲ 48.7
4	13.2	6.1	7.2	▲ 7.5	23.7	3.0	17,663	6.4	111	▲ 14.7
5	10.6	7.1	8.4	▲ 3.5	69.8	8.5	14,118	2.8	115	▲ 14.8
6	▲ 3.0	3.1	3.6	▲ 10.4	36.3	4.2	22,582	▲ 55.0	159	27.8
7	8.1	9.4	8.3	▲ 0.8	1.9	4.9	44,353	68.0	99	5.0
8	8.8	8.6	7.6	11.8	3.2	▲ 13.3	26,976	▲ 32.3	97	▲ 15.3
9	8.5	6.8	7.5	6.6	19.5	14.5	73,429	150.2	107	▲ 7.5
10	11.8	6.6	6.9	3.5	15.1	8.2	22,851	▲ 23.0	145	2.4
11	5.3	5.1	5.4	2.7	6.1	3.5	30,627	78.9	89	▲ 47.0
12	2.0	3.2	3.8	3.2	▲ 8.1	7.0	17,812	58.8	139	3.0
2024 1	7.1	3.5	4.0	0.8	▲ 19.7	5.4	42,164	279.4	78	▲ 20.3
2	13.3	9.9	10.6	6.8	▲ 29.5	7.3	53,986	▲ 9.1	75	▲ 24.6
3	5.2	6.3	7.2	P11.9	▲ 26.8	▲ 4.7	75,459	▲ 11.1	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 2022年4月より家電卸売販売額から家電大型専門店販売額へと更改した。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

	新設住宅着工戸数		建 設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼 材 売上高	木 材 売上高	手持ち 工事額	建設関連 DI (単月)	建設関連 DI (3カ月移 動平均)
暦年	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	指数	指数	指数
2021	9,668	▲ 9.7	▲ 8.4	▲ 15.4	▲ 21.1	▲ 6.0	3.1	-	-	-
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.3	9.0	-	-	-
2023	-	-	P32.3	0.6	▲ 0.1	P14.6	▲ 2.5	-	-	-
2023 2	657	21.2	98.7	▲ 1.7	3.6	▲ 5.0	▲ 10.9	195.1	▲ 3.4	▲ 2.3
3	670	▲ 10.9	▲ 25.9	▲ 6.8	▲ 1.1	20.2	3.2	197.2	0.0	▲ 1.1
4	733	▲ 25.2	▲ 91.5	▲ 0.6	▲ 11.4	▲ 0.3	▲ 1.3	200.2	▲ 6.9	▲ 3.4
5	768	▲ 8.0	▲ 57.4	27.4	20.8	8.8	▲ 14.2	203.5	0.0	▲ 2.3
6	1,213	62.6	18.6	▲ 10.0	▲ 9.8	22.1	1.3	208.1	0.0	▲ 2.3
7	924	26.4	80.6	3.6	▲ 1.1	13.5	▲ 7.7	206.9	▲ 6.9	▲ 2.3
8	847	4.6	713.2	▲ 15.5	▲ 24.8	8.9	▲ 19.2	234.0	0.0	▲ 2.3
9	845	21.1	32.5	18.5	20.0	P30.4	7.2	245.2	6.9	0.0
10	747	15.3	▲ 6.4	10.9	4.9	P14.1	8.6	245.4	3.6	3.5
11	782	0.6	50.7	6.4	14.4	P35.5	▲ 0.5	250.5	▲ 10.7	▲ 0.1
12	1,102	7.3	135.0	▲ 10.1	▲ 7.2	P44.9	4.5	263.5	7.1	0.0
2024 1	768	▲ 14.2	▲ 73.8	0.4	▲ 1.5	P25.2	7.6	263.7	▲ 7.1	▲ 3.6
2	640	▲ 2.6	P▲ 12.5	2.7	2.5	P34.2	21.1	P260.9	0.0	0.0
3	-	-	P206.9	▲ 8.7	▲ 12.0	▲ 0.4	3.2	P290.2	▲ 11.1	▲ 6.1
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2022年12月より調査先17社のうち、一部更改を行った。

注) 手持ち工事額は、2015年平均＝100とする。

沖縄県内の主要金融経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		観光施設入場者数	ゴルフ場入場者数
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比
2021	3,016.7	▲ 19.3	0.0	▲ 100.0	24.3	22.2	▲ 30.4	▲ 20.0	▲ 41.0	8.6
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	134.1	4.7
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	P57.4	56.0	P40.8	33.3	P62.9	3.3
2003 2	597.9	233.6	43.4	100.0	70.9	58.5	214.5	262.7	317.5	29.9
3	766.2	84.3	64.2	100.0	62.8	55.2	89.2	84.7	131.9	8.9
4	669.9	63.8	66.8	100.0	53.8	55.9	58.8	62.2	109.3	▲ 5.6
5	645.3	62.6	70.0	100.0	46.6	50.6	27.3	53.2	94.4	12.3
6	663.4	47.9	77.7	100.0	55.5	55.4	52.3	51.6	80.7	▲ 6.6
7	778.5	28.1	114.9	100.0	55.1	65.5	28.8	31.3	54.7	▲ 2.7
8	728.6	13.7	96.4	96,300.0	50.3	55.5	39.0	▲ 0.5	11.2	▲ 21.0
9	710.1	43.5	106.6	100.0	56.5	55.0	33.0	23.6	P43.5	9.4
10	788.4	25.0	115.5	4,177.8	60.8	64.9	18.4	12.7	34.2	▲ 5.5
11	688.0	11.9	90.9	651.2	57.8	57.4	▲ 6.1	▲ 1.4	23.9	▲ 0.1
12	666.6	5.0	95.1	189.9	63.9	47.7	3.8	▲ 4.8	15.6	0.5
2024 1	629.1	18.2	120.3	168.5	58.9	46.4	15.9	6.4	25.9	▲ 2.3
2	719.2	20.3	144.8	233.6	72.0	59.8	18.8	14.5	P24.5	▲ 2.0
3	845.1	10.3	164.1	155.6	69.7	P60.4	10.1	P▲2.8	P12.8	▲3.4
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ					

注) ホテルは、2021年11月より調査先が28ホテルから27ホテルとした。

注) ゴルフ場入場者数は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	広告収入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	前年比
2021	38	10,989	201.9	0.0	3.6	0.4	0.80	0.7	3.9
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.3	2.1	0.98	22.5	▲ 2.9
2023	40	3,398	▲ 44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	▲ 2.6
2003 2	3	430	4,200.0	2.8	3.5	1.6	1.12	11.0	▲ 0.1
3	6	145	▲ 84.5	3.1	3.9	0.1	1.14	7.5	▲ 7.6
4	3	294	72.9	3.8	4.0	0.0	1.18	18.0	▲ 6.3
5	4	689	474.2	3.6	3.7	1.1	1.20	16.6	▲ 11.5
6	5	225	100.0	4.6	3.0	2.4	1.20	▲ 0.5	1.7
7	3	147	56.4	4.0	2.5	3.9	1.20	15.4	▲ 2.0
8	1	20	▲ 94.8	4.2	4.0	0.5	1.19	1.5	▲ 1.2
9	6	771	828.9	3.7	3.4	0.9	1.20	5.0	3.7
10	1	200	▲ 75.5	3.5	3.4	3.7	1.16	1.4	6.0
11	4	239	218.7	3.6	3.2	3.1	1.11	▲ 7.2	▲ 7.1
12	2	110	▲ 82.2	3.6	2.9	1.3	1.13	0.2	▲ 4.1
2024 1	4	416	225.0	3.2	2.8	1.2	1.14	▲ 2.4	0.1
2	6	157	▲ 63.5	4.3	2.8	1.7	1.16	▲ 1.8	1.3
3	4	113	▲ 22.1	3.5	3.3	1.1	1.16	▲ 3.9	-
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課			沖縄労働局		りゅうぎん総研調べ

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年＝100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2023年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の主要金融経済指標(その3)

	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	県内金融機関 の預金残高 (末残)		地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)	
年度	億円	億円	億円	%	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2021FY	2,825	2,906	▲ 80	1.356	58,716	4.1	58,037	4.1	41,033	0.5
2022FY	2,581	3,453	▲ 873	1.332	60,834	3.6	60,065	3.5	41,959	2.3
2023FY	-	-	-	1.318	-	-	-	-	-	-
2003 2	178	306	▲ 128	1.328	60,217	3.4	59,542	3.3	41,654	2.1
3	202	352	▲ 149	1.324	60,834	3.6	60,065	3.5	41,959	2.3
4	271	241	30	1.332	61,863	2.6	61,161	2.5	41,478	2.0
5	155	419	▲ 264	1.333	61,841	2.8	61,098	2.7	41,518	1.5
6	187	286	▲ 98	1.329	62,029	2.1	61,274	2.0	41,570	1.6
7	196	279	▲ 83	1.325	62,316	2.3	61,590	2.2	41,630	1.6
8	246	364	▲ 117	1.325	62,275	2.4	61,531	2.4	41,559	1.3
9	167	418	▲ 251	1.325	62,215	2.8	61,480	2.8	41,799	1.3
10	209	323	▲ 113	1.327	61,897	2.2	61,174	2.2	41,641	1.2
11	258	352	▲ 93	1.328	62,021	2.4	61,242	2.4	41,766	1.2
12	352	181	170	1.318	61,973	2.3	61,202	2.2	42,233	1.9
2024 1	148	500	▲ 352	1.320	61,654	2.5	60,873	2.4	42,248	1.9
2	161	178	▲ 139	1.317	61,590	2.3	60,821	2.1	42,428	1.9
3	-	-	-	-	-	-	62,058	3.3	43,558	3.8
出所	日本銀行那覇支店				日本銀行本店		沖縄県銀行協会			

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

	沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)		鉱工業生産指数 (季調値)		通関 輸出	通関 輸入
年度	億円	前年比	億円	前年比	2015年=100	前年比	百万円	百万円
2021FY	10,428	1.0	3,005	4.9	-	-	44,890	126,238
2022FY	10,667	2.3	3,006	0.0	-	-	75,417	302,815
2023FY	-	-	-	-	-	-	52,671	288,310
2003 2	10,727	2.7	2,996	▲ 0.1	75.6	2.6	1,870	12,347
3	10,667	2.3	3,006	0.0	77.3	0.4	5,927	25,429
4	10,618	1.3	2,987	0.1	72.0	▲ 11.4	24,678	21,830
5	10,569	1.2	2,977	▲ 0.1	72.8	2.8	1,147	10,583
6	10,501	0.7	2,971	▲ 0.1	72.9	▲ 0.4	1,429	20,164
7	10,465	1.2	2,969	▲ 0.3	70.4	0.3	1,943	47,767
8	10,287	▲ 3.7	2,964	▲ 0.5	68.8	▲ 0.5	1,326	36,444
9	10,238	▲ 4.6	2,961	▲ 0.7	78.7	7.8	2,555	15,641
10	10,321	▲ 3.7	2,953	▲ 1.4	72.9	1.1	1,620	17,430
11	10,285	▲ 4.3	2,954	▲ 1.2	77.0	13.2	7,894	50,581
12	10,241	▲ 4.6	2,946	▲ 1.7	73.3	4.3	1,380	12,960
2024 1	10,203	▲ 4.9	2,936	▲ 2.2	83.7	11.6	2,138	14,788
2	10,211	▲ 4.8	2,924	▲ 2.4	84.2	11.3	1,691	16,725
3	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	-	-	16,581	10,902
出所	沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会		県企画部統計課		沖縄地区税関	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。

注) 鉱工業生産指数は暦年ベース。暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

注) 貿易概況は、暦年ベース。